



僕のいた時間

フジテレビ系 水曜後 10.00

厳しい就職活動を乗り越え、晴れて社会人となった拓人(三浦春馬)。恋人の恵(多部未華子)と穏やかな日々を送っていたが、左手の異常に気づいて病院に行くと、「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」と診断される。

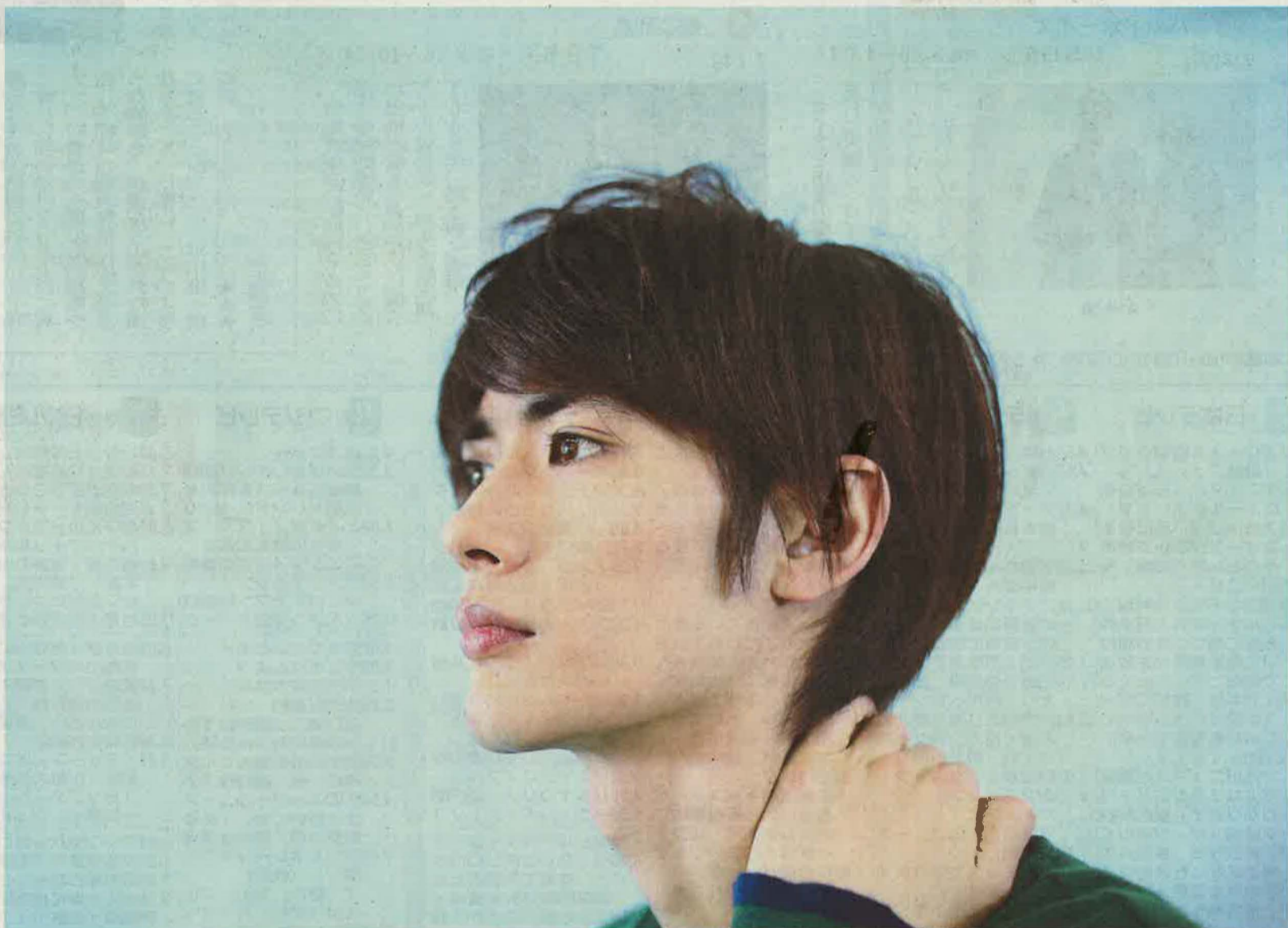


みうら・はるま 1990年4月5日、茨城県出身。子役時代から注目を浴びる。日本テレビ系ドラマ「14才の母」や映画「恋空」などで人気急上昇。上映中の映画「永遠の0」にも出演している。

三浦 春馬



インタビュー&ドラマ



病から大切なもの学ぶ

命の終わりは誰にでも訪れる。ただ、忘れがちな。徐々に体の筋肉が衰えていく難病「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」にかかった主人公・拓人を演じる。物語は「人はいつか死ぬ」という当たり前の事実を突きつけ、見る人に「いかに生きるべきか」ということを思い起こさせる。「今まで過ごしてきた日々がどれだけとおしいか。病気になることで生まれる部分を伝えたい」。ただつらいドラマにはしたくない、と考えている。

拓人の心理描写に悩んでいたところ、ALS患者の**藤田正裕**さんからメッセージ付きの著書を受け取った。「この病から生まれるものや、決して奪われない大切なものを学んだ」。より多くの人にALSを理解してほしいと願い、演じる。

拓人は少しずつ病を受け入れながら、恋人や家族との間合いを巡り葛藤する。「もし自分だったらどう考えるかはわからない」としつつ、大切な人が病を得た時の姿勢は決めている。「それまでと変わらない態度が、一番の心の安定につながる」と聞いている。僕も同じように接したい」

文・鶴田裕介
写真・前田尚紀



今回は

田中 哲司

Q ドラマでお母さんの空揚げを食べて泣くシーンがあります。おふくろの味は何ですか。(神奈川県・納富幸子さん)

A 僕も空揚げなんです。母の空揚げはすごくおいしくて、レシピを教えてくださいました。自分の一番得意な料理でもあります。

Q 好きな食べ物は最初に食べますか。最後に食べますか。(群馬県・亀井美奈子さん)

A 最初に食べますし、最後に残しておきたいです。いい具合に配分して。



Q 健康のために心がけることは。(千葉県・プーさん)

A うがい、手洗い、鼻うがい。撮影現場は思ったよりホコリが舞っていて、室内にカンツメ状態なので、色々と蔓延します。手を洗った後に「携帯を触るのも嫌」と思うこともあり、敏感になりすぎた自分が嫌になったりします。